



特集展示
九州
渡来
仏
とらいぶつ

ふるさとの岸をはなれて
伝え、守り、祈る人がいた

特集展示
九州
渡来
仏
とらいぶつ

人の心をまもり、
人にまもられる
境界を越えた祈りの軌跡

九州国立博物館
太宰府天満宮横



2026(令和8年)
7/7 火
8/30 日

Buddhas by Boat: From Asia to Kyushu



国際シンポジウム
「九州渡来仏を日韓で考える」

日時：2026年7月20日(月・祝) 10時～17時
場所：九州国立博物館ミュージアムホール
定員：270名 ※事前申込不要、聴講無料
※詳細は九博公式サイトをご確認ください

ミュージアムトーク

日時：①2026年7月28日(火) 15時～15時30分
日時：②2026年8月12日(水) 15時～15時30分
場所：文化交流展示室L室
担当学芸員：①大澤 信(文化財課)
②森實 久美子(文化財課)

きゅーはく☆とっておき講座

「祈りがつなぐ渡来仏の歩み」

日時：2026年8月16日(日) 13時30分～15時
場所：九州国立博物館ミュージアムホール
担当学芸員：大澤 信(文化財課)

会場 | 九州国立博物館 4階 文化交流展示室 L室
会期 | 令和8年7月7日(火)～8月30日(日)
開館時間 | 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
特別展開催中の土曜日は
午後7時まで夜間開館(入館は午後6時30分まで)
※夜間開館の時間は変更になる場合があります。
休館日 | 毎週月曜日
※ただし7月20日(月・祝)、8月10日(月)は開館、
7月21日(火)は休館
※本展では、一部作品を前期(7/7～8/2)・後期(8/4～8/30)
で展示替えいたします。

観覧料 一般700円、大学生350円
(学生証等の提示をお願いします)

高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は無料
※令和8年7月18日(土)～8月30日(日)の期間は特別展「水戸期展～人類が見た4万年前の世界～」の半券でもご覧いただけます。※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料です。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は、展示室入口にて生年月日がかかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※キャンパスメンバーズの方は無料でご覧いただけます。展示室入口にて学生証、教職員証等をご提示ください。※詳細については九博公式サイトをご確認ください。



※身障者用駐車場はどちらの入口からでも入れます。
駐車場(有料)には限りがございますので、
予めご了承ください。
■最寄り駅:西鉄太宰府駅から徒歩約10分
■最寄り駅へのアクセス
■西鉄電車)西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線で
西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線で西鉄太宰府下車
■車
(九州自動車道) 太宰府ICから約15分・筑紫野ICから約20分
(タクシー利用) JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分

太宰府天満宮横
九州国立博物館
〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 www.kyuhaku.jp
ハローダイヤル 050-5542-8600(午前9時～午後8時/年中無休)



ごまかし無用!
地獄の沙汰はあなた次第

【市指定】 十王図
陸信忠筆 中国・南宋時代 13世紀
福岡・善導寺(福岡市) 展示期間:8/4～8/30



こっ きょう こく せき
国境も国籍もない、
阿弥陀の極楽浄土
あ み だ じ ゅ と ず
阿弥陀浄土図
中国・元時代 14世紀
熊本・大慈寺(熊本市) 展示期間:7/7～8/2



【県指定】
誕生釈迦仏立像
朝鮮半島・高麗時代 13-14世紀
長崎・大興寺(対馬市)

個性あふれる
お釈迦さまの赤ちん姿



【県指定】
菩薩坐像
朝鮮半島・高麗時代 14世紀
島根・本願寺(出雲市)

離れ離れになって数百年
糸島と出雲の兄弟仏



【重要文化財】
如来坐像
朝鮮半島・統一新羅時代 8世紀
長崎・黒瀬観音堂(対馬市)

安産の神様として
まつられた
渡来仏の最高傑作

その受容の歴史をたどります。
古代から近世にいたる九州渡来仏の名宝四〇件から



【県指定】
地藏菩薩遊戯坐像
朝鮮半島・高麗時代 11世紀
九州国立博物館(対馬市伝来)

高麗、対馬、太宰府へ
お地藏さまの遠き旅路



【県指定】
菩薩坐像
朝鮮半島・高麗時代 14世紀
福岡・瑞梅寺区(糸島市)



【県指定】
釈迦如来坐像
中国・清時代 17世紀
福岡・正源寺(久留米市)

黄檗が伝えた
お釈迦さまの微笑



【県指定】
観音菩薩坐像
朝鮮半島・高麗時代 1330年
長崎・観音寺(対馬市)

観音さま、おかえりなさい
日韓をむすぶ祈りの心

半世紀に一度!?

まぼろしの九州渡来仏が九博に集結!

仏教は、今から二五〇〇年ほど前に百済から日本に伝えられました。

それ以来人々は、海を渡ってきた極彩色で光り輝く仏像や仏画に祈りを捧げ、
日本でつくられた神や仏たちとも分け隔てなく大切に守り伝えてきたのです。

本展では二〇二五年にお帰りになった対馬市観音寺の観音菩薩坐像をはじめ、



30年ぶりの
公開!
【県指定】
如来坐像
中国・北魏時代 453年
(対馬市伝来)

ガンダーラ仏の姿を写す
日本最古の渡来仏